

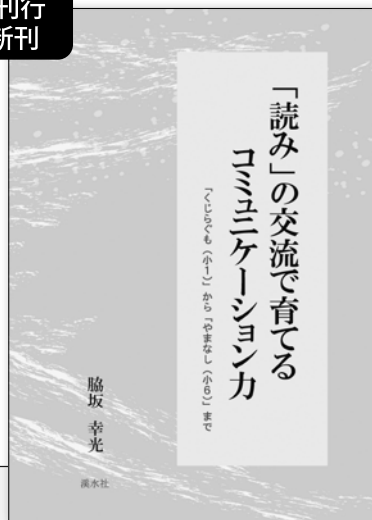
# 「読み」の交流で育てる コミュニケーション力

7月刊行  
最新刊

「くじらぐも (小1)」から「やまなし (小6)」まで

脇坂 幸光 著 2,500円 + 税 ISBN978-4-86327-447-1

「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」とは、新しい概念ではない。本書ではコミュニケーション力を『他者の気持ちを読む力や他者と考えを交流し共有し合う力』にとらえ、コミュニケーションという側面から、実際の授業実践を考察する。



## I 理論編

- 一 文学教材を「読む」こととコミュニケーション  
文学教材学習の今日的課題／今、求められるもの／気持ちを読める子に／読むことの「交流」／「真正のコミュニケーション」を求めて／「読み」は子どもによって違う／「読む」ことは、作品や登場人物とのコミュニケーション／「読み」の交流はコミュニケーションの場／「読み」の交流というコミュニケーションの意義／個々が自分の「読み」を持っていることがコミュニケーションを可能にする「読み」の交流を行うための場の設定／単元を貫く言語活動と「読み」の交流／文学教材を「読む」ことと学力
- 二 「読み」の交流でのコミュニケーションの実際 — F男の学びから—  
F男のとらえと願い／F男の学びの実際／示唆されたこと
- 三 個々の「読み」の傾向性をさぐる  
学習者研究の改善／「読み」の傾向性を予測すること／「読み」の傾向性をさぐる観点／「読み」の傾向分析の実際「ごんぎつね」(小4)

## II 実践編

- 一 小学校一年生が 友達とともに 文学的文章を楽しく読む学習を目指して  
「くじらぐも」、「ずうっと、ずっと、大すきだよ」(小1)
- 二 子どもたちの「不思議」から出発した二者択一の問題を設定して  
「かたつむりくんに手紙をわたしてよかったのかな」「お手紙」(小2)
- 三 個々の「読み」を交流するための場面設定のあり方  
「おじいさんが病気になるのは、どうしてだろう」「三年とうげ」(小3)
- 四 子どもの学びをとらえて  
「豆太に話をするじさまの気持ちを考えよう」「モチモチの木」(小3)
- 五 個々の「読み」の傾向を生かした課題学習の実践  
「ゆみ子に対する父親の願い」「一つの花」(小4)
- 六 「読み」の交流を通して、自らの「読み」を確かめたり発展させたりすることを目指して  
「このお話の『神様』とは、どういうものなのだろう」「わらぐつの中の神様」(小5)
- 七 「読み」の交流を通して、分かる喜びを  
「なぜ『やまなし』という題名なのだろう」「やまなし」(小6)

# 「読み」の交流で育てるコミュニケーション力

「くじらぐも (小1)」から「やまなし (小6)」まで

脇坂 幸光 著 2,500円 + 税 ISBN978-4-86327-447-1

個人・書店様注文書

お名前	ご注文冊数
冊	
ご住所 (〒 )	お電話番号 ( )

【書店様】  
ご注文の際には  
溪水社宛に FAX  
をお送り下さい。

FAX  
082-246-7876

番線印

◆お問合せ 直接のご注文は



溪水社

広島市中区小町1-4 (〒730-0041) TEL (082) 246-7909  
E-mail info@keisui.co.jp FAX (082) 246-7876

書籍の詳しい情報はホームページで  
URL: [www.keisui.co.jp](http://www.keisui.co.jp)